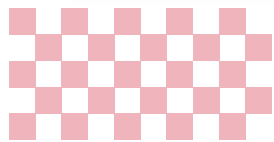


# ティンクルなごや通信

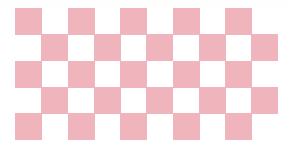
利用者さん一人ひとりへの最善の援助を目指して……………	1
日中活動紹介・スタッフから……………	2-3
清掃スタッフ紹介 気持ちの良い空間づくりのために……………	4

名古屋市重症心身障害児者施設  
ティンクルなごや  
指定管理者 社会福祉法人むつみ福祉会  
名古屋市北区平手町1丁目1番地の5  
TEL: 052-916-0333

第12号  
2022年7月



## 利用者さん一人ひとりへの 最善の援助を目指して



摂食・嚥下障害看護認定看護師 濱崎 佳奈

摂食嚥下障害とは、口の中の食物を飲み込み、胃に送る一連の過程のどこかで障害が起きている状態のことを言います。認定看護師とは、特定の分野の研修を受けて日本看護協会の認定審査に合格し、その分野の専門家として認められた看護師です。

私の主な役割は、嚥下評価、嚥下訓練や食事内容の提案、誤嚥・窒息予防のための姿勢や食事介助方法の提案・予防ケア、栄養管理、経鼻胃管や胃ろうの管理、嚥下の仕組みについての説明、嚥下機能に影響を及ぼす薬剤に関する助言、職員やご家族への説明・指導・相談対応などです。

当施設では、栄養管理については栄養サポートチーム (Nutrition Support Team ; NST) があります。今年度摂食嚥下サポートチーム (Dysphagia Support Team ; DST) を立ち上げ、入所中の利用者さん全員に対して摂食嚥下障害への介入を行っています。メンバーは、リハビリテーション医・看護師・管理栄養士・生活支援員・理学療法士・薬剤師等で構成されており、それぞれの専門分野の立場から、各利用者さんの状態に応じた最善の援助について定期的に話し合いの場を設けてい

ます。サポートチームのメンバーと共に利用者さんの元に足を運んで嚥下状態を観察・評価したり、外部施設と検査や診察の調整を行っています。

最近では、胃ろうを造設された利用者さんがおられ、造設後も経口摂取を維持できるよう、当施設でも継続できる嚥下訓練の内容を考え取り組んでいます。職員に対しては学習会や指導を行い、胃ろうに慣れていない利用者さんやご家族、職員も安心して過ごせるようサポートをしています。

各フロア内では担当者を中心として定期的にカンファレンスを開催し、より良い方法はないか模索し、利用者さんそれぞれに適した方法を工夫し、職員一同奮闘しながら介助を行っています。

「口から食べて飲み込む」ことだけが食の楽しみではありません。「目で見て、耳で聴き、匂いを嗅ぎ、感触や味を楽しむ」ことも大切な食の楽しみだと考えています。経口摂取の有無に関わらず、利用者さん全員に五感を使って食を楽しんでいただけるよう、利用者さんやご家族の思いに寄り添っていきます。



摂食嚥下サポートチームの主要メンバーです



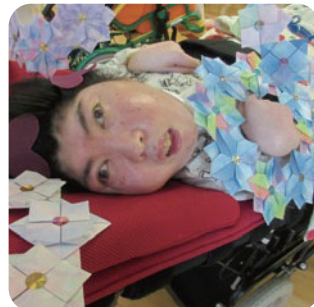
栄養サポートチームの話し合いの様子です

## テラスに咲く笑顔の花

2階フロアでは、午後日中活動の時間に、天気がいい日は皆さんでテラスに出て、歌を歌ったり、手遊びをしたり、時には花壇に水やりをしています。風が心地よく感じられる気温になりましたので、皆さんとてもよい表情を見せてくださいます。

季節のイベントでは、5月はこどもの日に兜のリースを作り、6月はあじさいのリースを作りました。リースはデイルームの天井へ飾り、季節の変化を楽しんでいたできるようにしました。

黒谷 裕美 (2階 看護師)



## ゆっくりと向きあい笑いあう時間

3階西フロアではクリスマス会や夏祭り、誕生日会のような大きなイベントの他にも毎日様々な種類の日中活動を行っています。中でも2年前から新しく取り組んでいる個別日中活動をご紹介します。個別日中活動は個人の興味関心に焦点を当て、利用者さんご自身が得意なことや好きなこと、興味を示したものを活動に取り入れ、職員と利用者さんが1対1でゆっくり時間をかけて行う活動です。

例えば利用者さんの好きなおもちゃや絵本で楽しく遊んだり、職員が体幹を保持しながら座位や伏臥位で過ごしたり、音楽を聴きながら楽器を鳴らしたり、体を動かすといった活動をしています。また、天気が良く気候が穏やかな時にはベランダの外周を散歩しテラスで日光浴したり、相撲やマラソンの時期にはデイルームの大きなテレビでスポーツ観戦を楽しまれている方もいらっしゃいます。人それぞれ個性があるよう

に、利用者さんによって活動内容は様々です。個別で活動しているため、利用者さんの気持ちが沈んでいらっしゃる時や疲れが見られる時には予定を変更して、居室で音楽やテレビを鑑賞して穏やかに過ごしていただくなど、利用者さんの体調に合わせて活動することも可能です。利用者さんに合わせた活動を行うことで笑顔になってくださる利用者さんが多く、職員も思わず一緒に笑顔になって嬉しくなります。

大人数でのイベントや日中活動が難しい中でも、こうした新たな形態の日中活動の登場で、利用者さんから笑顔が絶えることはなく、同時にたくさんの経験や体験を通して新たな発見も絶えることはありません。今後も毎日の中で利用者さんたちが楽しみを1つでも多く感じることができるよう、職員一丸となって支援していきます。

植松 瞳 (3階西 生活支援員)

## 一人ひとりに寄り添う『ふれあい体操』

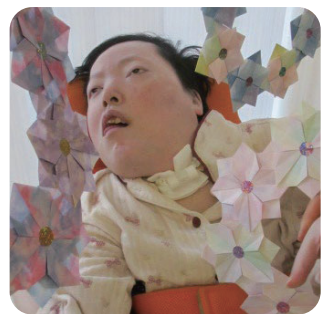
3階東フロアでは毎日の集団活動とは別に個別日中活動を定期的に行っています。1対1での時間をつくることによって、利用者さんの生活リズムに合わせた活動を行うことができます。また、集団活動とは違った反応を引き出すことができます。

そのひとつである『ふれあい体操』をご紹介します。この体操は身体を動かすためのものだけでなく、『心』に寄り添い、ふれていく体操です。『ふれあい体操』は丹羽陽一さん・武井弘幸さんが紹介したもので4種類の体操があります(※)が、その中でも『ふれっ手(しゅ)体操』・『ふれ足(あし)体操』を中心に行っています。歌いかけやタッチングをしながら身体の全体と部分にふれていきます。利用者さんは笑顔を見せたり、時には「はっ」と驚いたり、リラックスして気持ちよさそうに柔らかな表情を見せてくださいます。職員とのやりとりによるコミュニケーションを大切にいき、温かい関係性を築きあげることができればと考えています。

利用者さん一人ひとりに深く関わる時間をつくることで、普段の活動では見られない姿を見られることもあります。今後も利用者さんが充実した生活を送れるよう、工夫していきます。

※『障がいの重い子のための「ふれあい体操」』という著書で紹介されています。

村田 涼祐 (3階東 生活支援員)





# 清掃スタッフ紹介

## 気持ちの良い空間づくりのために



ティンクルなごやの清掃を担っていただいている社会福祉法人ゆたか福祉会つゆはし作業所の皆さんをご紹介します。

訓練を受けた障がいのあるスタッフを含めた7~8名で当施設を支えてくださっています。

今回はつゆはし作業所の石田主任にお話を伺いました。

### ▶清掃作業の指導・訓練はどのようにされていますか？

最初に清掃実習を行います。その後、清掃以外で働くうえでのマナーや行動などを確認します。清掃は、最初に工程と一緒に確認していき、一人で作業できるよう指導します。その後、自己流にならないよう月1回は作業工程と一緒に確認しています。

### ▶分担を決める時には何か工夫をされていることはありますか？

清掃作業を任せることができれば、一人で清掃をします。また、賑やかな場所が苦手な場合は、人通りの少ない場所の作業を任

せています。

### ▶実はここが大変ということはあるですか？

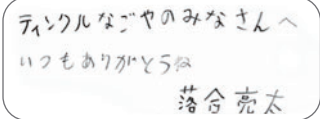
一番大変なのは、今自分がどこにいるのか位置関係を把握することです。把握しておかないと、居室清掃の際にどこが清掃済みか、そうでないかがわからなくなります。

### ▶最後にティンクルなごやへのメッセージをお願いします

私どもは清掃業者ではありますが、同じ障害分野に関わるひとりとして、一人ひとり違うステージの利用者さまに対しての支援方法など、学ぶ機会が多くあると感じています。

障害分野のことも学べる環境で仕事ができる私どもは幸せものです。

スタッフからの直筆メッセージとInstagramもぜひご覧ください。



TSUYUHASHI.S

柵木 千夏 (事務職員)



### ■公共交通機関でお越しの方

- 栄より/市バス栄11系統「西部医療センター」又は「志賀公園前」下車
- 名古屋駅より/市バス名駅13系統「又穂住宅東」  
/市バス名駅15系統「城見通二丁目」または「西部医療センター」下車

### ■お車でのお越しの方 「黒川」出口から約10分です。



名古屋市重症心身障害児者施設 〒462-0057  
 名古屋市北区平手町1丁目1番地の5  
 TEL: 052-916-0333  
 (指定管理者) 社会福祉法人 むつみ福祉会 FAX: 052-916-0338

ホームページでも、日々の生活の様子や職員メッセージを配信しています。ぜひご覧ください。

<https://twinkle-nagoya.com>

